

FRIENDLY

FRIENDLY REPORT

第54期報告書

平成19年4月1日→平成20年3月31日



株式会社フレンドリー

証券コード：8209

レストランチェーン「フレンドリー」オープンから30周年。 これからも“喜びの輪”を皆様へ。

当社は創立以来、関西を中心に、レストランチェーン「フレンドリー」をはじめとした数々の業態を展開し、多くのお客様に食の楽しさを提供してまいりました。家庭とは違う空間で、豊かな食文化を提供し、お客様の日々の暮らしをより豊かにする—それこそが当社の社会的使命だと考えております。これからも当社は、毎日お迎えする数多くのお客様の喜びの輪をさらに大きなものへと広げてまいります。



一本仕入れのまぐろと新鮮な寿司、備長炭で焼き上げる炉端料理が名物。家族連れを中心に気軽なおはし処としてご好評をいただいております。

34 店舗



食を通じた団樂とふれあいの絆づくりをテーマにした和食レストラン。新鮮な旬の食材を旨味と持ち味に活かしたメニューには定評があります。

25 店舗



健康応援バイキング・レストラン。60種類以上のメニューを自由に組み合わせて、バランスのとれたお食事を楽しんでいただけるお店です。

1 店舗





日本の原風景「里山」をテーマにした都市型居酒屋です。どこか懐かしさを感じる店内で、和み料理と味わいの酒を楽しんでいただけます。

18 店舗



かぐや姫の里、安芸の小京都「竹原」をテーマにした本格的和食のお店。しゃぶしゃぶ・鍋・季節の和膳をお手頃価格で提供しています。

2 店舗



お料理は、欧・米・和の本格派。オープンキッチンやスタッフによるお客様のお席でのおもてなしなど、いままでにないレストランを目指しています。

1 店舗



「おいしい」「たのしい」「ここちよいい」をテーマに地域に根ざしたカジュアルなファミリーレストランです。お客様の健やかな生活を考えて、バランスのとれたメニューと、こだわりの美味しさを取り揃えてお迎えています。

47 店舗

※店舗数は、平成20年6月末予定のものです。

さらなる食の安心・安全の確保と
質の高い接客サービスで
「テーブルサービスレストラン」としての
ブランド価値を高めます。

代表取締役 社長
重里 育孝



Q1 経営環境について

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第54期の営業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社を取り巻く環境は、今、新たな局面を迎えていると考えています。わが国における経済は緩やかな景気回復を続けてきましたが、当期後半には、原油価格の高騰や米国サブプライムローン問題に端を発する世界経済の不透明感が広がり、個人消費にも翳りが出てまいりました。

そのようななか、外食業界におきましても、同業他社のみならず中食業界との競合激化に加えて、食材価格の高騰やパート人件費の上昇、飲酒運転の社会問題化による外食離れ、食品偽装問題、さらには中国産冷凍加工食品事件等、多くの要因が重なり合い、経営環境は極めて厳しい状況にあると認識しております。

Q2 当期の業績について

一方で、お客様のニーズはますます多様化しており、外食を取り巻く社会的な機能・役割は今後もさまざまに変化していくものと考えられます。

このような環境のもと、当社は前期に引き続き、既存業態の「団欒れすとらん ボンズ」から新業態「産直鮮魚と寿司・炉端 源べい」への業態転換と都市型居酒屋「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」の新規出店、ならびに不採算店・低採算店の閉鎖を柱とした事業構造の改革に全力を挙げて取り組んでまいりました。

しかしながら、当期の売上高は16,130百万円（前期比260百万円減）、営業損失は165百万円（前期は営業利益104百万円）、経常損失は148百万円（前期は経常利益145百万円）、当期純損失は204百万円（前期は当期純損失901百万円）と、誠に不本意な成績となりました。

株主の皆様のご期待に添う結果を残すことができなかったことにつきましては遺憾に存じますが、構造改革の進展など実質的な目標は達成していると判断しています。引き続き、当社の長期的な戦略の狙いや効果の他、潜在力をバランスよく見ていただければと思います。

Q3 当社の品質管理について

お客様の食に対するこだわりやニーズはますます多様化・高度化しています。そして安全・安心を求める声は過去になく高まっており、その対応は食を取り扱う企業の責務となっております。

当社は昨年9月に発生した「源べい」の食中毒事故の反省を踏まえ、さらなる食の安全性を確保する体制づくりを強化しております。

特に食の安全・衛生管理につきましては、フレンドリー購買基準の構築と衛生管理・検査体制を確立し、ISO9001とともに厳格に運用しております。

中国原産の食材につきましては、一部の品目において引き続き取り扱いを続けてまいります。品質管理につきましてはさらに厳重なチェック体制を敷いてまいります。

さらにお客様に信頼していただき安心して食事をお召し上がりいただくために、フレンドリー品質保証システムを見直すとともに、コンプライアンス部を新設するなど、総合的な取組みも併せて行っております。

「商品企画」「仕入れ」「工場」「店舗」など、すべての段階で管理・監督できるように安全性確保のためのマニュアル化や従業員のトレーニングを積極的に推進することで、より安全でより美味しい食の提供に努めてまいります（詳しくはP.9をご覧ください）。

Q4 今後の展開について

今後の商品政策につきましては、“健康・安全・おいしさ”の見地から食材

を厳選し、お値打ち感のある商品の提供を行ってまいります。

具体的な施策としましては、年2回のメニューの見直しのほかに、季節に応じた挟み込みのメニュー開発などのほか、農林水産省が提唱する食事バランスガイドを参考にしたメニュー作りにも取り組んでおります。

また、オープンキッチンやバイキング形式などを取り入れ、ライブ感やシズル感を味わっていただける開放的な雰囲気づくりにも努めております。

当社は創業以来、「テーブルサービスレストラン」という理念のもと、顧客満足度の向上を図っております。そのためには、まず従業員の満足が高めることが不可欠であり、質の高い接客サービスをお客様に提供することで当社の潜在成長力を発揮し尽くすことが大切であると考えております。

そこで当社は従業員に対する教育・訓練の仕組みを見直し、1店舗1店舗の従業員満足度の向上にも尽力して

おります。イキイキと楽しく働く従業員がお客様と積極的にコミュニケーションを図ることで、店舗における接客サービスの付加価値が高まり、当社の成長の場がさらに広がるものと期待しております。

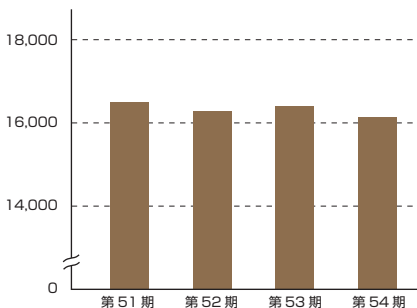


当社は今後もファミリーレストランの原点である「テーブルサービスレストラン」としての自覚や誇りを持ち、社会的責任を全うしながら適正利益を確保する強靱な経営基盤の構築に努めます。

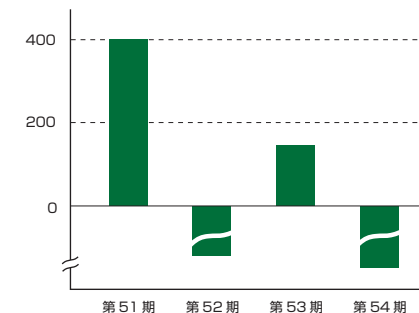
株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

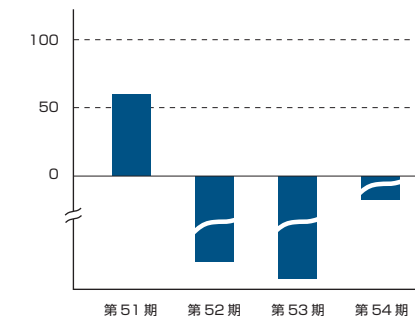
■売上高
(単位：百万円)



■経常利益
(単位：百万円)



■当期純利益
(単位：百万円)



特集 I 業態紹介

和み料理と味わいの酒 土筆んぼう



日本の原風景“里山”をコンセプトに 素材にこだわったお料理を

京阪神のターミナル駅前に 新しい居酒屋サービスを提供

当社の新業態「土筆んぼう」第1号店がオープンしたのは、2005年3月。東大阪市のターミナル駅でもある近鉄布施駅前「里山の美」をテーマにした大衆居酒屋として、その歩みを始めました。

「土筆んぼう」の商圈は、乗降客3万人以上の住職混合の色が強い衛星都市駅前がメイン。現在は、大阪・京都・神戸を中心に18店舗を構え、近隣で就業あるいは居住する20代～30代の女性グループや30代～40代男性をターゲットにしております。

個性豊かなメニューを揃え、 常連客の囲い込みに取り組む

商品価格は、チェーン居酒屋並に抑えており、お客様一人当たりの単価は、お食事だと2,800円前後、宴会の場合はお飲み物込みで3,000円前後となっております。

人気メニューは「山芋のお好み焼き(514円)」や「ブリブリ海老のチリマヨネーズ(577円)」、鹿児島産六白黒豚を使った里山料理や大和高原鶏の串料理など、調理にひと手間加えた手づくり感が好評です。

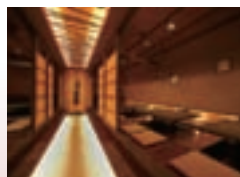


また、メニューは約2ヶ月毎に見直し、お客様にいつも新鮮な驚きを提供できるように心がけております。また常連客を囲い込むボトルキープ制も導入し、大変ご好評をいただいております。

ストーリーある店舗構えに ワンランク上の商品・サービスを

店舗は、入口から店内にいたるまでに、ストーリーを感じていただける演出を施しており、里山を思わせる安心感がありながらも、オシャレで高級感のある内装となっております。

「ワンランク上の雰囲気・商品なのに、価格が思ったより安い」というお客様の声をさらに広げていけるよう、今後もチェーン居酒屋とは一味違う、活気、美味しさ、楽しさをお客様にご提供しながら、地域一番の居酒屋として地元に根づくための努力を重ねてまいります。



現場から



和み料理と味わいの酒
土筆んぼう
千日前店 店長
田崎 雄大

「土筆んぼう千日前店」は、20代から60代まで幅広いお客様にご来店いただいております。週末になると、若いカップルや大人数のお客様が増え、大変にぎやかです。

当店では、マニュアルを超えたお客様とのコミュニケーションを大事にしており、お勧めメニューも積極的にアピールしています。株主様には、ぜひ一度足を運んでいただき、当店のお料理と雰囲気をお楽しみいただければと思います。

特集Ⅱ サービス向上への取り組み

さらなる顧客満足向上をめざす 従業員研修

当社では、現場で働く従業員の満足が、お客様の満足へと広がり、それが会社の今後の発展につながると考えております。そのため、従業員教育は非常に重要なものであると認識しており、レストランチェーン「フレンドリー」をはじめ、全業態で顧客満足の向上を目指した従業員研修を導入しております。

レストランチェーン「フレンドリー」の従業員研修は、「フレンドリースクール」と名づけられ、専門コンサルティング会社から講師を招いて、毎月1回、3時間のプログラムが行われています。

セミナーに出席するのは、「フレンドリー」店長をはじめ、パート・アルバイトのリーダーで、関西圏の全店舗から毎回100名以上の従業員が召集されます。プログラムはコミュニケーション能力を高め、接客レ



「第11回フレンドリースクール」の様子



ベルを向上する課題が講師より提示され、グループに分かれた参加者たちが個々にディスカッションをすすめ解決策を導きだすものになっています。

参加した従業員からは、単なる勉強の場だけにとどまらず、自店と他店の情報を交換できる良い機会となっているとの声が聞かれ、全社的な接客サービスの底上げにつながるものと期待しております。



参加者全員で記念撮影

●セミナー参加者の声

- セミナーでは、いろんな「気づき」を得ることができ、また他店のメンバーと情報交換ができる良い機会だったと思います。(女性:リーダー)
- 今回のセミナーで学んだことは、メンバーのモチベーションアップに活かせることが多く、非常に参考になりました。(男性:店長)
- 自分の意見を述べること、人の意見を聞くことの重要性を学んだセミナーでした。(女性:リーダー)
- お客様によりよいサービスを提供するためにどうすればいいかということについて、お互いの考えを伝え合えるこのセミナーは大変有意義でした。自分の店のメンバーとも是非このような機会を作りたいと思いました。(男性:アルバイト)
- 店長、リーダー、アルバイトなど、それぞれの立場の方たちに相談することで、いろんなアドバイスを得ることができ、自分がとるべき行動が見えてきました。(女性:アルバイト)

貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末	前期末
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	3,183	3,337
固定資産	8,351	8,638
有形固定資産	5,331	5,332
無形固定資産	59	63
投資その他の資産	2,960	3,242
資産合計	11,534	11,976
(負債の部)		
流動負債	1,479	1,600
固定負債	2,018	1,994
負債合計	3,497	3,594
(純資産の部)		
株主資本	8,902	9,181
資本金	3,975	3,975
資本剰余金	3,058	3,058
利益剰余金	1,879	2,156
自己株式	△ 9	△ 8
評価・換算差額等	△ 865	△ 800
その他有価証券評価差額金	65	130
土地再評価差額金	△ 930	△ 930
純資産合計	8,037	8,381
負債・純資産合計	11,534	11,976

損益計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成19年4月 1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月 1日から 平成19年3月31日まで
売上高	16,130	16,390
売上原価	5,221	5,163
売上総利益	10,908	11,226
販売費及び一般管理費	11,073	11,122
営業利益または営業損失(△)	△ 165	104
営業外収益	199	201
営業外費用	182	160
経常利益または経常損失(△)	△ 148	145
特別利益	250	0
特別損失	252	636
税引前当期純損失	149	491
法人税、住民税及び事業税	36	41
法人税等調整額	18	368
当期純損失	204	901

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	339	437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 456	△ 118
財務活動によるキャッシュ・フロー	80	176
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△ 36	495
現金及び現金同等物の期首残高	2,857	2,362
現金及び現金同等物の期末残高	2,820	2,857

期末配当について

当期の期末配当金につきましては、厳しい業績に鑑み、まことに遺憾ながら見送らせていただきました。株主の皆様には、深くお詫び申し上げますとともに、次期の黒字回復を確かなものにするため全社一丸となって努力を続けますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	3,975	3,058	2,156	△ 8	9,181	130	△ 930	△ 800	8,381
当期中の変動額									
剰余金の配当			△ 73		△ 73				△ 73
当期純損失			△ 204		△ 204				△ 204
自己株式の取得				△ 1	△ 1				△ 1
株主資本以外の項目の 当期中の変動額（純額）						△ 65		△ 65	△ 65
当期中の変動額合計	—	—	△ 277	△ 1	△ 278	△ 65	—	△ 65	△ 344
平成20年3月31日残高	3,975	3,058	1,879	△ 9	8,902	65	△ 930	△ 865	8,037

フレンドリーの安全・安心

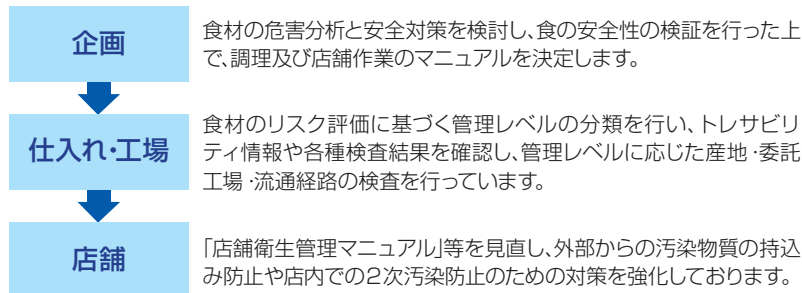
お客様に安心して食事をしていただくために—

食の分野において、食品偽装問題や輸入品の残留農薬問題など、お客様の信頼を揺るがす不祥事が多数発生するなか、当社ではお客様に安心して食事していただくことこそ、企業が存続し成長していくための絶対条件だと考えています。ここでは、食中毒事故の発生防止を含め、「食の安全・安心」についての当社の総合的な取組みをご紹介します。

お客様基点とコンプライアンスの確立

- 常にお客様を基点として、メニューを企画する段階からお客様の安全と健康を第一に考えます。
- 法令や社会規範を遵守し、社会倫理に沿った企業活動を進めるため、「コンプライアンス部」を新設し、全社員に行動規範の教育を行っております。

品質保証システムの強化

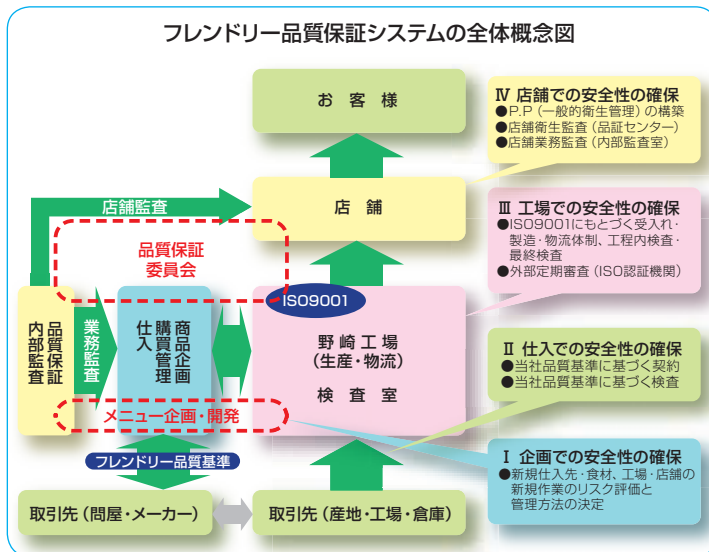


これらの品質保証システムが正しく整備・運用されているかを、品質保証センターによる店舗衛生検査と、内部監査室による業務監査、及びISO認証機関による当社工場の外部定期審査などを実施し、確認しています。

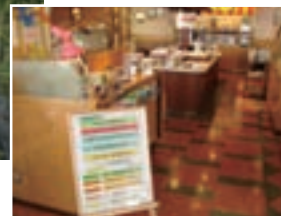
情報の収集・伝達・開示

- ホームページやお客様窓口へのご意見やリスクに関する情報は、経営判断に速やかに反映できるように担当取締役様に報告され、食品の事故防止や商品の企画、業務プロセスの改善を行っています。
- メニュー表示や広告・宣伝活動は、誤認や誤解のおそれのない表現をし、お客様が必要とされる情報を積極的に公開してまいります。

フレンドリー品質保証システムの全体概念図



仕入れによる産地視察



店舗での原産地表示

会社の概要

(平成20年3月31日現在)

商 号	株式会社 フレンドリー
英 文 商 号	FRIENDLY CORPORATION
設 立	昭和29年8月9日
資 本 金	3,975,062,600円
発行済株式総数	14,645,584株
従 業 員 数	375名
本 社	大阪府大東市寺川三丁目12番1号
工 場	大阪府大東市寺川三丁目12番1号
主な事業内容	ファミリーレストラン事業

役 員

(平成20年3月31日現在)

代表取締役社長	重 里 育 孝
専 務 取 締 役	吉 村 哲 行
取 締 役	牧 野 健 太 郎
取 締 役	小 瀬 透
取 締 役	三 好 秀 文
常 勤 監 査 役	手 川 明 映
監 査 役※	山 口 利 昭
監 査 役※	大 西 耕 太 郎

(注) ※印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

●株式の状況

発行可能株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 61,800,000株

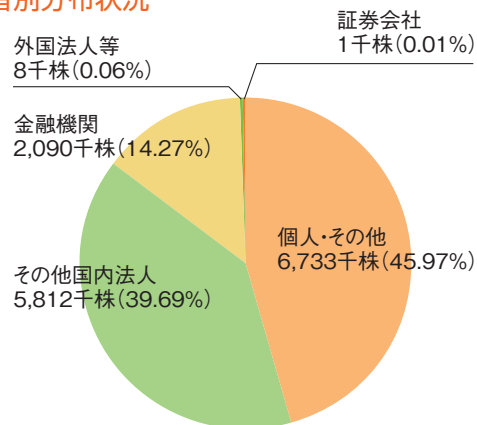
発行済株式総数・・・・・・・・・・・・・・・・ 14,645,584株
(うち自己株式19,185株)

株 主 数・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,330名

●大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社きずな	3,920	26.76
重里育孝	2,009	13.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	656	4.47
株式会社りそな銀行	532	3.63
アサヒビール株式会社	500	3.41
フレンドリー共栄会	368	2.51
株式会社三菱東京 UFJ 銀行	310	2.11
みずほ信託銀行株式会社	304	2.07
東京海上日動火災保険株式会社	204	1.39
フレンドリー従業員持株会	199	1.36

●所有者別分布状況





株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 配当金受領 期末配当 3月31日
株主確定日 中間配当 9月30日
- 基準日 定時株主総会 3月31日
その他、必要あるときはあらかじめ
公告して定めた日
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部
- お問合せ先 (郵便物送付先) 〒135-8722
東京都江東区佐賀1丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社
証券代行部
- (電話照会先) 電話 0120-288-324
(インターネットホームページ) <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
- 同取次所 みずほ信託銀行株式会社
全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店
- 公告方法 日本経済新聞に掲載

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、EDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

ホームページのご案内



フレンドリーのホームページでは、店舗情報やメニュー情報を随時更新しています。
また、品質保証システムについても詳しく説明しております。是非ご覧ください。

<http://www.friendly-co.com/>

株式会社フレンドリー

